

都市再生整備計画(第9回変更)

河口湖船津地区

山梨県 富士河口湖町

平成21年12月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	山梨県	市町村名	富士河口湖町	地区名	河口湖船津地区	面積	95 ha
計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

- 大目標： 富士山と湖に育まれた国際観光都市にふさわしい賑わいの再生
- 目標 1 総合的な交通環境の整備により来街者及び住民への利便性及び安全性・快適性の向上を図る。
- 目標 2 地域の文化、歴史、景観を根本から見つめ直し、地域の特性を活かした中心市街地の賑わいを再生する。
- 目標 3 新たな観光・交流の場の創出により、魅力の向上と賑わいを高める。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 河口湖船津地区旧市街地は河口湖駅から河口湖畔に至る観光、商業の中心地として古くから栄えてきた。しかし近年、厳しい経済状況による主幹産業である観光業の伸び悩み、郊外への人口移動、幹線道路沿道への車対応型の大規模商業施設の立地により空洞化が進行しつつある。一方、本町の大きな特色であり、来街者にとっても大きな魅力である自然環境については、自然公園法により保全されているが、狭隘道路、建て詰まりにより、湖畔までのアクセスやゆとりのある観光をする為の環境が整えられていない。特に当地区の北側にそびえる天上山は、富士山と河口湖を望む絶好の展望地であり、以前より観光客、住民より公園化の要望が強い。また、平成15年11月15日に町村合併を行い、新庁舎が当該区域から郊外へ移転したことにより町としての中心性が失われてきている。
- 旧河口湖町第4次総合計画の中で中心市街地活性化基本計画の策定やタウンマネジメント機関の設置を始め、歩いて楽しい、魅力的な中心市街地づくりの方向性が示されており、平成15年11月15日に町村合併をした新町でも引き続きこの政策を取り入れる予定である。
- 旧河口湖町の都市計画マスタープランにおいては当地区は「賑わいと交流のまち」と位置付けられ、国際観光都市の顔となる自然豊かな美しい公園都市づくり、賑わいと交流の拠点となる中心市街地の整備と活性化の促進、道路網の整備を図り市街地での渋滞の解消と、住民の利便性の向上、防災機能の強化に努めると示されている。
- 当地区では「河口湖通り商店街・本町通り商店街」の商店主等の住民が中心となりまちづくりに関する取り組みがなされており、旧河口湖町庁舎を活動の拠点とする予定で地区の方向性について模索している最中であり、今後の公民協働による「まちづくり」の気運が高まっている。
- 平成18年3月に上九一色村と市町村編入合併の予定

課題

当地区において国際観光地にふさわしい賑わいを再生させるためには、拠点整備の促進及びアクセス条件の向上が大きな課題である。

- 河口湖駅及び富士登山道から湖畔へ向かう町道は歩道が未整備であり、歩行者の通行には非常に危険が伴い、来街者や住民が寛げる空間がない。このため、観光及び地域のためには駅前広場及び歩道の整備、寛げる空間の創出が急務である。
- 現在の河口湖船津地区商店街は自然発生的に誕生したものであり商店街としコンセプトに乏しく目玉となるものがない。しかし商店街周辺には寺社があり、旧鎌倉街道が付近を通り、富士山、河口湖という絶好の景観がある。これらの文化、歴史、景観を結び付け活性化を図っていく必要がある。
- 当地区は商業、住宅地区であるが公園、観光拠点及び、地域拠点は来街者、住民への供給が追いつかず実質的な当地区への滞留人口の減少を招いている。ゆとりある観光、地域コミュニケーションの促進には公園、観光拠点、地域拠点整備が必要である。
- それぞれの整備に伴い地域内の回遊性を高め、地区住民の意識の向上をさらに図ることでソフト、ハードが両輪となったまちづくりを推進する必要がある。

将来ビジョン(中長期)

富士五湖観光の玄関口、観光拠点にふさわしい中心市街地の活性化と魅力の向上、交通環境の改善

- 当地区は平成17年度を用途地域設定がされる地域であり、山梨県策定の富士北麓都市計画区域マスタープランにおいては観光拠点と位置付けられ商業・情報・交通結節等の機能強化を図る地区と位置付けられている。
- 旧河口湖町都市計画マスタープランにおいては日本を代表する富士登山と富士五湖観光の玄関口（ゲートゾーン）として「リゾートガーデン 船津-賑わいと交流のまち-」を将来像とし、公園のように美しい景観・環境づくりを進めるとともに市街地道路の整備、賑わいと活気のある商業環境づくりが位置付けられている。
- 旧河口湖町第4次総合計画の中では、商業・観光の振興の主要施策において中心商店街の活性化、近隣商業、観光商業の振興を図る地区と位置付けられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
駅乗降客数	人/年	1年間の駅乗降客数の計測	駅からの湖畔への歩行アクセス条件の向上に公共交通機関を利用した来街者の1割増加を目標とする。	485,000	H15	533,500	H22
地区内観光施設利用者数	人/年	地区内観光施設の1年間の利用者数の合計	地区内の拠点整備の促進、アクセス条件の向上より観光施設の利用者の1割増加を目標とする。	579,000	H15	636,900	H22
地区内宿泊者数	人/年	地区内宿泊施設の1年間の宿泊者の合計	地区内の諸整備によってゆとりある観光を実現し宿泊施設の宿泊者の1割増加を目標とする。	257,000	H15	282,700	H22

## 都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p><b>・整備方針1（総合的な交通環境の整備により、来街者及び住民への利便性、安全性・快適性の向上を図る）</b></p> <p>観光拠点にふさわしい交通環境の改善を図るため、駅と市街地及び湖畔方面を連絡する既存道路の改良を図る。</p> <p>来街者の利便性向上やゆとりある歩行者空間の創出、景観の向上を図るため、歩行者ルートの確保と道路空間のグレードアップを図る。</p> <p>鉄道玄関口としての交通結節機能を強化するため、河口湖駅前広場の整備を図る。</p>	<p>道路（基幹事業／河口湖駅前線、町道3149号線）、交通安全施設等整備事業（関連事業／国道137号）</p> <p>高質空間形成施設（基幹事業／湖畔周遊道路、富士登山道線）、地域生活基盤施設（基幹事業／富士登山道線及び街なかサイン、案内看板）道路改良事業（関連事業／富士登山道線）</p> <p>駅前広場整備事業（関連事業／河口湖駅前広場）</p>
<p><b>・整備方針2（地域の文化、歴史、景観等を根本から見つめ直し、地域の特性を活かした中心市街地の賑わいを再生する）</b></p> <p>地域の文化、歴史、景観を深く掘り下げることにより多くの人々が訪れたいくなる景観・環境を形成するために住民主体のまちづくり検討会を中心にソフト、ハードが両輪となった将来のまちづくりの検討を行う。</p> <p>観光および地域交流の新しい拠点として、富士山と河口湖が望める絶好のロケーションである天上山公園の整備を行う。</p>	<p>まちづくり活動推進事業（提案事業／まちづくり検討会）、高質空間形成施設（基幹事業／街なか石畳道、旧鎌倉街道）</p> <p>地域生活基盤施設（基幹事業／天上山展望広場、天上山及び旧鎌倉街道サイン）</p>
<p><b>・整備方針3（新たな観光・交流の場の創出により、魅力の向上と賑わいを高める）</b></p> <p>まちの魅力を高めるため、地域に根ざしたテーマ性のある観光・交流拠点の整備や河口湖駅前から湖畔へ向かう各所に案内板やベンチなどが設置されたポケットパークの整備、湖畔景勝地の展望広場の整備を行う。</p> <p>観光拠点施設の充実を図るために観光ギャラリーの建設を行う。</p> <p>長期滞在者の増加における地震火災時等の際の観光客の安全性を確保するため、大池地区に消防ポンプ車を配備できる観光防災センターを整備する。</p> <p>地区住民の交流促進や中心市街地活性化のために旧河口湖町庁舎を地域のコミュニティー施設として整備する。</p> <p>各種施設の充実を図る中で予想される新規雇用機会の増大に伴う入所児童数の増加に対応するため、既存保育施設（3歳未満）の増築を行う。</p> <p>高齢者の介護予防、生きがい作り等交流の場として利用されているゲートボール場を、多目的に活用できる施設にするため屋内化を行う。</p>	<p>地域生活基盤施設（基幹事業／ポケットパーク、小曲展望広場、大久保賑い交流広場） 地域創造支援事業（提案事業／小曲展望広場既存建物撤去）</p> <p>地域創造支援事業（提案事業／観光ギャラリー）</p> <p>地域生活基盤施設（基幹事業／観光防災センター）</p> <p>地域交流センター改修事業（関連事業／船津地区地域交流センター）</p> <p>地域創造支援事業（提案事業／保育所増築及び外構整備、保育所増築に伴う既存建物撤去）</p> <p>地域創造支援事業（提案事業／船津地区多目的ふれあい施設）</p>
<p><b>その他</b></p> <p>○事業終了後の継続的なまちづくり活動</p> <p>当地区では地元商店主が中心となり積極的なまちづくりを目指している。今後も多くの住民の参加により官民協働でまちづくりを推進するための啓蒙活動、会議、協議を重ねていく予定である。</p> <p>当地区の事業終了後もそのノウハウを町内の他地域の活性化及びまちづくりに活かせるように努める。</p> <p>○街並み形成の誘導を図る為の方策について</p> <p>当町では周辺の自然景観と調和した都市景観を創造するための景観条例の制定を目指している。今後、ワーキング、検討会を通じてよりよい街並みの誘導を図っていく予定である。</p>	

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,713	交付限度額	687.7	国費率	0.401
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		河口湖駅前線	富士河口湖町	直	L=295m,W=8~9.25m	H17	H19	H17	H19	120	120	120		120
道路		町道3149号線	富士河口湖町	直	L=70m、W=7m	H18	H18	H18	H18	10	10	10		10
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道														
駐車場有効利用システム														
地域生活基盤施設	広場	小曲展望広場	富士河口湖町	直	A=2,000㎡	H17	H21	H17	H21	230	230	230		230
地域生活基盤施設	広場	ポケットパーク3	富士河口湖町	直	A=330㎡	H17	H20	H17	H20	30	30	30		30
地域生活基盤施設	広場	ポケットパーク4	富士河口湖町	直	A=70㎡	H19	H20	H19	H19	15	15	15		15
地域生活基盤施設	広場	ポケットパーク6	富士河口湖町	直	A=300㎡	H17	H18	H17	H18	45	45	45		45
地域生活基盤施設	広場	天上山展望広場	富士河口湖町	直	A=6,700㎡	H19	H21	H19	H20	30	30	30		30
地域生活基盤施設	広場	大久保賑い交流広場	富士河口湖町	直	A=5,700㎡	H17	H21	H17	H21	480	480	480		480
地域生活基盤施設	情報板	富士登山道線及び街なかサイン	富士河口湖町	直	15基	H19	H21	H19	H21	4	4	4		4
地域生活基盤施設	情報板	案内看板	富士河口湖町	直	15基	H18	H19	H18	H19	12	12	12		12
地域生活基盤施設	情報板	天上山及び旧鎌倉街道サイン	富士河口湖町	直	5基	H19	H21	H19	H21	3	3	3		3
地域生活基盤施設	地域防災施設	観光防災センター	富士河口湖町	直	2F 120㎡	H17	H18	H17	H18	50	50	50		50
高質空間形成施設	緑化施設等	湖畔周遊道路	富士河口湖町	直	L=380m W=12.0m	H17	H19	H17	H19	100	100	100		100
高質空間形成施設	緑化施設等	旧鎌倉街道	富士河口湖町	直	L=600m W=3.5m	H17	H21	H17	H21	95	95	95		95
高質空間形成施設	緑化施設等	街なか石畳道	富士河口湖町	直	L=500m W=2.0~6.0m 概計17基	H17	H21	H17	H21	80	80	80		80
高質空間形成施設	緑化施設等	富士登山道線	富士河口湖町	直	L=12m W=5.8~6.0m	H21	H21	H21	H21	4	4	4		4
高次都市施設														
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										1,308	1,308	1,308	0	1,308

…A



都市再生整備計画の区域

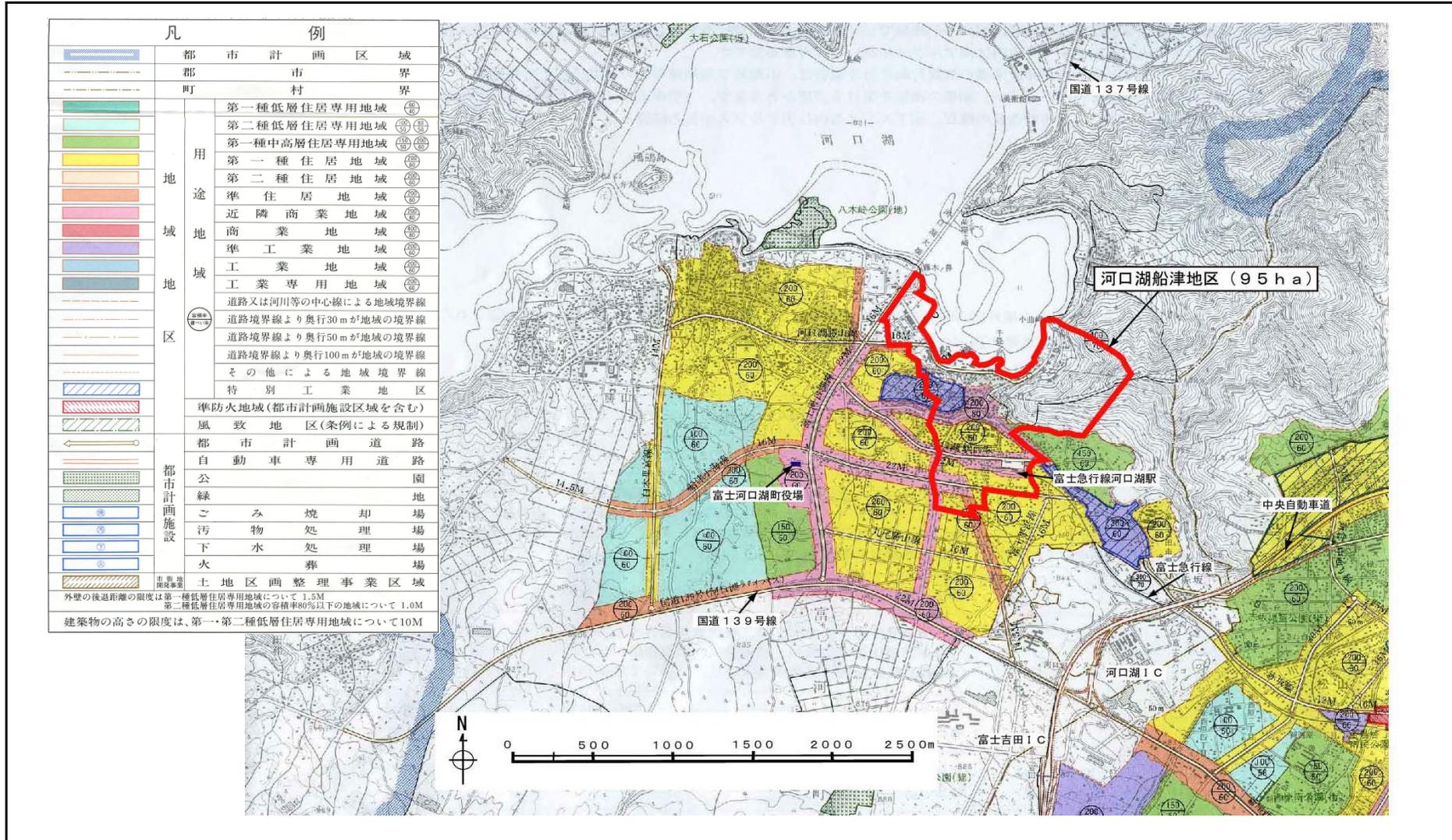
河口湖船津地区(山梨県富士河口湖町)

面積

95 ha

区域

富士河口湖町船津地区の一部、浅川地区の一部



## 河口湖船津地区(山梨県富士河口湖町) 整備方針概要図

目標	富士山と湖に育まれた国際観光都市にふさわしい賑わいの再生	代表的な指標	駅乗降客数 (人/年)	485,000	(15年度)	→	533,500	(22年度)
			地区内観光施設利用者数 (人/年)	579,000	(15年度)	→	636,900	(22年度)
			地区内宿泊者数 (人/年)	257,000	(15年度)	→	282,700	(22年度)

